

東久留米市の特別支援教室

1

「特別支援教室」はどんな教室ですか？

各学校に一教室ずつつくられる「特別支援教室」に先生が行く。



2

どのようなお子さんが通っていますか？

- 一人でも多くの子供が在籍する学校で、特別な指導を受けることができるよう、「特別支援教室」は、各小学校に一教室ずつ設置されています。集団行動や集団での学習に難しさを感じている子供たちが専門の教員から課題に応じた特別な指導を受けることができる教室です。

3

30年度の指導体制

■特別支援教室完全実施

- ・全市13校を4ブロックに分ける。
- ・4つの拠点校が設置されました。
- ・児童数10人に担任1人
- ・東ブロック・拠点校 第六小 (二小・神宝小)
- ・西ブロック・拠点校 第七小 (十小・下里・本村)
- ・南ブロック・拠点校 第九小 (五小・南町小)
- ・北ブロック・拠点校 第一小 (三小・小山小)

- ▶平成27年度以前通級学級入級 移行措置あり 月2回程度の通級指導と支援教室指導
- ▶平成28年度以降支援教室入室 移行措置なし 1～2時間程度の支援教室指導

4

巡回校指導での内容

- ①特別支援教室での学習
 - ・週一回 2時間～4時間程度
 - ・個別指導と小集団指導
 - ・課題に応じた時間や指導内容
- ②教室支援
 - ・教室における指導や観察
 - ・担任の先生との連携

6

特別支援教室での個別・小集団指導の内容

- 国語や算数などの学習
 - ・児童の特性にあった学習方法 プリントの工夫、練習方法の工夫
 - ・スモールステップでの学習 児童の集中力にあった学習の組み立て
- 運動
 - ・協調運動、バランス、体幹を鍛える学習
 - ・ルール、勝敗のあるゲーム
- ソーシャルスキル、コミュニケーションの学習
 - ・小集団での学習
 - ・ゲーム、絵カード、プリント、ロールプレイを使った学習
 - ・相談の仕方やSOSの出し方の練習
- 気持ちや感情のコントロール、リラックスの方法の学習
 - ・勝ち負けのあるゲームを通して

7

個別指導では...
例えば「漢字九九」「漢字イラストカード」

8

個別指導では...
例えば...「ソーシャルスキルトレーニング」

- それぞれの課題に応じたテーマを設定し、教師と共に解決策や案を考える。
- 実際に起こり得る場面を想定し、ロールプレイ形式で演じることで、ソーシャルスキル、コミュニケーションの力を育てる。
- 気持ちや感情のコントロール、リラクスの方法の学習
- アンガーマネジメント（怒りの管理・計画）に沿って自らの感情が、何によって乱れているかを知るために、視覚的支援を行う。また、自分に合った怒りの対処方法を探す。

9

個別指導では...
例えば...「アンガーコントロール」

- Anger「怒り」Control「制御」のこと
- アンガーマネジメントとは、行き場ない怒りのエネルギーが衝動的に暴走しないように、行動を自らの意思でコントロールすること。
- 怒りを「押さえ込む」事ではない。
- 自分が「何をかんでいるのか?」「誰(何)に対してなのか?」「どの程度のものなのか?」についての的確に理解した上で、自分の意思で行動を決め、正しい形で実現し、鞘に収める。

参考文献：キレやすい子へのソーシャルスキル教育
～教室でできるワークシートと実践例～
ほんの出版 本田恵子 より

10

小集団活動では...
例えば...「運動」

サーキット

ルールのある運動
・ドッジボール
・サッカー
・テニスボールなど

11

小集団活動では...
例えば...「コミュニケーション」・「ソーシャルスキルトレーニング」

フルーツバスケット

10の扉

12

小集団活動では...
例えば...「製作活動」

刺繍 プラバン アイロンビーズ

刺繍の作品

製作活動の様子

13

小集団活動では...

ルールを守る、負けてもドンマイ



14

こんな場面が頻繁に見られたら.....。

- 授業中に立ち歩くなど落ち着かない
- ちょっとしたこと気に取られやすい
- 興味・関心のかたよりが強い
- 集団行動が取りづらく、仲間から外れがち
- 細かな作業や全身運動が苦手
- 整理整頓が難しい
- 一部の教科だけつまずきが目立つ
- 不安感が強く学校に行きたがらない

15

御清聴ありがとうございました。

17